

平成28年度 第2回佐賀市地域公共交通会議議事要旨

開催日	平成28年12月21日（水）10:00～11:00	
出席者	委員	馬場会長、（橋本委員代理）鐘ヶ江委員、江上委員、（小島委員代理）大崎委員、伊東委員、（東委員代理）原口委員、（松尾委員代理）山口委員、牛島委員、嘉村委員、小城原委員、副島委員、川崎委員、高木委員、（旗生委員代理）藤崎委員
	事務局	古賀企画調整部長、武藤企画調整副部長、田中交通政策室長、古賀交通政策副室長、納富交通政策主事
欠席者	委員	木下委員、坂本委員、五十嵐委員、貞富委員
議事	（1）地域内フィーダー系統確保維持計画の変更認定申請について （2）佐賀市のコミュニティバス・デマンドタクシーの現状報告について	
傍聴者（公開）	なし	
報道機関	なし	

【議事（1）地域内フィーダー系統確保維持計画の変更認定申請について】 事務局から説明（割愛）

○委員

アンケート調査の方法と対象者について説明してほしい。

また、温泉病院発の夕方の便を維持するのは、利用者が多いということか。

○事務局

村外路線の対象者である65歳以上の高齢者、15歳から18歳の高校生の世代とその保護者、合計534人にアンケートを配布。回収率は65歳以上の皆様方は48.9%。高校生の世代、保護者の回収率は、3割程度。

乗込調査は、7月に一部便で乗車をして実施した。

温泉病院発の午後便の主な利用者は佐賀市内に通う高校生。利用者数は多いというところまでは至っていないが、利用の定着が見られるため維持した。

○委員

アンケートの回答者は、現在バスを利用されている方が多いのか。

○事務局

アンケートは226名の方から回答があった。利用したことがある方は、41人で約18%。

○委員

色々調査されているが、愛称だけで利用が増えるのか。また今後利用する人口がどれくらいか調査したのか。

○事務局

愛称については、検討会議の中で、車の塗装を分かりやすくしたらどうか、音を出しながらバスを運行したらどうか等の意見があり、まず手始めに愛称を募集したいと考えたところ。

アンケートの自由意見では、利用したことが無い方から「今は乗ってないが、今後乗ることになるのでバスを維持して欲しい」、「公共交通は大事」といった旨のご意見を多く頂いた。

○委員

バス停名称が昭和バスのバス停名称と違うバス停、例えば「北山ダム東部入口」が「セブンイレブン前」とか「三瀬温泉」が「池田口」等、昭和バスと異なったバス停名称になるが、お客様が混乱しないか。

○事務局

元々村外路線も昭和バスさんが三反田線で運行されていた経過もあり、同じ場所に設定している。一方で、名称はイメージがしやすいよう「セブンイレブン前」「池田口」「富士歯科前」といった呼称で、紹介していきたい。

○委員

この件に関して2日前に新聞に載っていた。新聞の基になる資料というのも出してもらいたい。

○事務局

(資料を追加で配布)新聞に載っていた乗客ゼロの便は、三瀬支所発温泉病院のうち、土曜日の17:15発、それから日・祝の10:40発の便。

○委員

今年購入されたバスは何人乗りか。

○事務局

三瀬については、村内路線にて14人乗りを1台、10人乗りを1台更新した。

○委員

温泉病院発のバスで、12:05と増発の13:05を診療の具合をみて1便にすることは出来ないか。

○事務局

温泉病院から三瀬支所まで戻り、支所から自宅まで行くときに、村内バスとの接続がよくなるかという意見があった。12:05は村内西まわりに接続をさせており、13:05便を出すと村内東まわりとの接続が可能になるため、今回2本立てで整理をした。また利用状況をみて検討したい。

議事1について同意

【議事2 佐賀市のコミュニティバス・デマンドタクシーの現状報告について】

事務局から説明（割愛）

○委員

シルバーパスの料金について、基本料金100円・200円・300円で高齢者割引100円だと、シルバーパスのメリットがあまり無いのでは。また、元々の金額が安いなかで、障がい者割引を設定する必要性があるのか。

○事務局

富士町コミュニティバスは平成26年10月から運行をしており、委員のご意見を参考にしながら、状況を見ていきたい。

○委員

松梅地区デマンドタクシーの利用者は増えているが、収支を整理し、全体費用がいくらか、そのうち本人負担や公費負担がどれくらいなのか明らかにしてほしい。

○事務局

委員のおっしゃるとおり、整理をしていきたい。

議事終了

【その他について】

○委員

免許証の返納を勧めるにあたり、返納すると移動手段が無くなるという話をよくされる。今後もこのような公共交通をもっと活性化してほしい。

○委員

大型二種免許を保持する若手が少なくなり、今のバスの便数を維持するのが精一杯という現状がある。運転士を確保する方法についても、国などに訴えていかないと立ち行かなくなる。

○委員

私どもではバス事業者はもちろん、整備業界や造船業界についても、専門学校を巡ったりして、職業PRをしているところ。一方、人がいないため、PRはしているが中々実を結ばない。

○委員

バスは利用者が少なく、便も悪くなる負のサイクルを繰り返しているため、バスやタクシー事業者を整備する必要がある。県職員をはじめ民間企業や学校にバス利用を呼びかけていきたい。

○委員

自家用車で行くより、シルバーパスを活用して100円で行ったほうが安い。自治会でも利用促進をしていきたい。

○委員

3月12日から、県下一斉で免許返納者のタクシー1割引を実施する。ぜひ皆さんからもPRをお願いしたい。また、佐賀駅BCに自動券売機を設置する等工夫をしている。今後も、よりよい環境づくりをしていきたい。

○委員

アンケートについて、バスを使わない方の声についても、データを残し、分析してほしい。